

## 新型コロナウイルス感染予防と学生としての自覚について

修文大学・修文大学短期大学部  
学生部長 山本 克司

現在、愛知県内の新型コロナウイルス感染症患者は、7月中旬から急増しています。特に、名古屋市内の繁華街では3つのクラスターが発生しており、20代30代を中心とした若者の感染比率が高くなっています。私たちは、社会のいたる所で罹患する危険性と隣り合っています。

そこで、新型コロナウイルス感染予防を徹底し、安心・安全な学習環境を守るため、学生のみなさんは、カラオケボックス利用、集団での飲食・飲み会、夜の街への出入り・アルバイト等の感染リスクのある行為は、当面の間、厳しく自粛してください。

自分自身が「うつす危険・うつされる危険」を日頃から十分に心がけ、責任ある学生生活をお願いいたします。